



みやお まお 舞桜 ちゃん  
4月1日生(小川)



さいとう りあ 莉亜 ちゃん  
4月2日生(村田)



なかじま けんすけ 健之介 くん  
4月3日生(築地)



わたなべ かいと 凱斗 くん  
4月3日生(稲野辺)



しば そうご 颯吾 くん  
4月4日生(有田)



いむら あやね 文音 ちゃん  
4月5日生(東石田)



おおば ゆずの ちゃん  
4月5日生(下平塚)



いずみた こうじ 航志 くん  
4月6日生(下川島)



しのざき はるな 春菜 ちゃん  
4月6日生(藤ヶ谷)



にへい ななみ 名々海 ちゃん  
4月9日生(下高田)



まだて めい 芽生 ちゃん  
4月9日生(布川)



ほりえ あやね 彩音 ちゃん  
4月10日生(伊佐山)



あだち あやな 彩七 ちゃん  
4月11日生(下中山)



ささき ゆうと 優斗 くん  
4月12日生(市野辺)



さかもと ゆうた 悠太 くん  
4月14日生(伊讚美)



おおはた ゆずは 柚子葉 ちゃん  
4月15日生(布川)



さかもと あつき 純輝 くん  
4月15日生(下中山)



なまい けいた 慶太 くん  
4月16日生(野田)



さいとう しな 史菜 ちゃん  
4月19日生(蓮沼)



もり せいな 聖凷 ちゃん  
4月20日生(横島)



にしむら みゆ 美優 ちゃん  
4月21日生(村田)



つくだ ともり 知紀 くん  
4月25日生(中籠)



いじま えいすけ 瑛介 くん  
4月26日生(下中山)



すずき しゅんゆう 俊悠 くん  
4月26日生(黒子)



おじま ももか 桃佳 ちゃん  
4月28日生(川澄)



あかま らいしや 來星 ちゃん  
4月29日生(みどり町)

## アイドル大募集



平成20年6月生まれのお子さんの写真を募集しています。写真裏面に①お子さんの氏名・ふりがな・生年月日・性別 ②保護者氏名・郵便番号・住所・電話番号を明記し、4月30日(木)までに市広報広聴課へ。



セキショウグループはあらゆる **ライフステージ** を応援しています。

### 事業内容



石油商品・LPG・自動車・自動車関連商品・IT機器システム開発・人材サービス・グラフィックス・保険ハウジング・リフォーム・住宅設備機器・レンタカー健康サービス・空調給排水衛生・運輸



本社/筑西市一本松1755-2 TEL0296-24-3121

<http://www.sekisho.co.jp/>



## 板谷波山を海外へ紹介したい

陶芸家で文化勲章受章者の板谷波山をしのぶ「波山の夕べ」(下館時の会(二木努会長)主催)が、3月3日アルテリオで開催されました。

6回目を迎えた今年は、英国セインズベリー日本芸術研究所のニコル・クーリッジ・ルマニエール所長を講師に招きました。

ニコルさんは波山の作品を「やわらかさと力強さが一体となつて、まるで呼吸しているようだ」と評価。「波山作品を海外で紹介していきたい」と語りました。

また、ゲストとして参加していた波山の孫の村田あき子さん(東京都・筑西ふるさと大使)から、波山が描いた絵を圖案化した着物の帯が、波山記念館に寄贈されました。

## 自主防災組織が救急処置を学ぶ

市では、平成20年度から市内全域で自主防災組織の編成を進めています。

3月8日には、市内で初めて組織された、栗崎地区、茂田第一地区、富士見町地区のみなさん54人が筑西消防本部で合同訓練に臨みました。

訓練は、119番通報体験から始まり、建物内の煙体験や地震体験車への乗車など実際の災害を想定した本格的なもの。竹と毛布を使った被災者の運搬訓練、消火器訓練などを行いました。また、女性消防団員から、AED(自動体外式除細動器)の使い方や心肺蘇生法などを学びました。



## 勤行川で鮭の稚魚の放流を開催

今年で3回目を迎えた、鮭の稚魚の放流会が2月22日、勤行緑地公園で開催されました。

参加者らは、8センチ程に育った約1万尾の稚魚を放流。「大きくって戻ってこいよ」「元気でね」などと元気に声をかけていました。稚魚を育てた鬼怒川・小貝川の会によると、大海原に出た稚魚は、北太平洋を巡回し、4年から5年後に生まれた川に戻ってくるとのこと。

放流会後には、参加者全員による河川清掃が行われました。また、焼きそばや豚汁などが無料で配られ、参加者らは楽しい1日を過ごしていました。



## 学校の校庭にビオトープづくり

村田小学校(海老原覚校長)では、水辺の自然環境を学習しようとして、ビオトープづくりを進めています。

3月3日には、3年生と4年生の児童たちが、NPOアサザ基金の先生から指導を受け、校庭に大きな池を作りました。大きく掘った穴には、水が漏れないよう3枚重ねのビニールをひき、その上から土をのせていきました。そして、完成した池には、タニシを入れたり、アサザなどの水草を植えたりしました。汗を流しながら重い土を運んだ児童たちは、この『バックン池』で多くの生き物とふれあえることを楽しみにしています。



農事組合法人  
**広沢農園・貸農園**  
 ザ・ヒロサワ・シティ  
 筑西市茂田 TEL.0296(24)5888

一区画30㎡の貸農園。家族連れで一日中ゆっくり楽しめます。

筑波大学監修プログラム  
**つくばスイミングアカデミー**  
 筑西市市野辺175-1 TEL.0296(25)777

幼児・学童・成人水泳・腰痛・アクアウォーキング・フリーコースなど多彩なメニュー。

**MOTOR HARLEY-DAVIDSON CYCLES**  
 ウェア・小物類も取り揃えております。  
**ハーレーのご試乗は手ぶらでOK!!**  
**ハーレーダビッドソン下館**  
 筑西市茂田 ザ・ヒロサワ・シティ  
 筑西市横島766-2 TEL.0296(21)1180



## 食文化を通じて 国際交流を

地域在住の外国人と食文化を通じて、理解と懇親を深めようと3月1日、下館国際交流友の会（玉水和子会長）主催の食文化交流会がしもだて交流センターで行われました。

参加したのは、同センターで行われている日本語教室に通う生徒と家族・友人など約80人。思い思いの材料を使い、中国のギョーザ、タイのトムヤムクン、スリランカのカレーなど各国の特色ある料理を作りました。

調理後の昼食会では、お互いの国の料理を試食したり、歌が披露されたりと和やかな雰囲気になりました。

## 田植えや稲刈り 農業体験を発表

3月7日、ボランテニアサークル「どんぐり会」主催のkids天国発表会が生涯学習センター・ペアノで行われました。

kids天国では「ザ・チャレンジ2008」と題し機械を使わない昔ながらの手法での農業体験のほか、きりたんぼ作りなどを実施。またすべての行事に参加した飛田達輝くんの家族は、スライドを交えて収穫祭などの思い出を発表しました。

当日は、劇団ゴン太による児童劇のほか音楽たんけん隊による合唱なども披露され、楽しい1日になりました。



## 五所宮集落が活 動モデル地域に

「県ふるさとづくり大会」が2月12日、県民文化センターで開催され、五所宮集落がふるさとづくり活動モデル地域集落として表彰されました。これは住民主体の農山漁村づくりを進めようと県ふるさとづくり推進センターが主催したもの。



## 上手く滑れるよ うになったよ!

3月1日、筑西市スキー協会（飯野博会長）主催の「筑西市民スキー、スノーボードバスツアー」が福島県の猪苗代スキー場で行われ、市内の親子133人が参加しました。

参加した小・中学生には初心者や圧倒的に多く、慣れない雪の上での動作に悪戦苦闘している子どもたちもいましたが、インストラクターの指導を良く聞き、ほとんどの子どもたちが滑れるようになりました。

参加した人たちからも「楽しかった。また参加したい」という声が多く聞かれ、思い出に残る1日になりました。



活動の中心となっているのは、県ふるさと女性大学「葦の会」を受講した人たちで、会場では「五所宮集落葦の会（大和田律子会長）」から、集落における活動として、登下校時の防犯パトロール、伝統芸能の継承、健康づくりなどの発表があり、盛んな拍手が送られていました。



完全セルフデーのご案内  
(まわり放題)

4月6日、13日、19日、27日  
5月7日、8日、11日、19日、  
25日  
6月1日、8日、15日、22日、29日  
プレー料金 ¥5,200

プレー料金のご案内  
【3月21日～5月1日】  
平日 税込¥9,400(セルフ・昼食込)  
土日祝 税込¥16,750(セルフ・昼食込)  
☆ゴールデンウィーク特別料金☆  
【5月2日～5月5日まで】  
税込¥11,500(セルフ・昼食込2B増有)



子供からお年寄りまで  
楽しめる生涯スポーツ  
パークゴルフ

国際パークゴルフ協会  
公認 36ホール

下館パークゴルフ場

ザ・ヒロサワ・シティ フォーフォイパーク  
筑西市茂田 TEL.0296(22)4189

下館ゴルフ倶楽部

ザ・ヒロサワ・シティ  
筑西市茂田 TEL.0296(20)1111

## 今月のおすすめ本

### 中央図書館

◆ 関東・甲信越地方にあるすべての「道の駅」188件について施設や設備のほか、特産品や周辺の観光スポットなどを紹介。お勧めサービスエリア・パーキングエリア情報も掲載。



**道の駅  
パーフェクトガイド**  
著：手塚一弘  
【メイツ出版】

◆ PTA行事・催事の司会進行のノウハウを詳しく解説。「先生との付き合い方」「電話・携帯のマナー」「個人情報への扱い方」など、いまだきのPTAに必要なマナーが豊富です。



**PTAのあいさつ・司会進行・文書の事典**  
著：PTA マナー研究会  
【法研】

◆ 裁判員に指名されてから、あわてないために、具体的事例が数多く紹介され、どのような証拠がどのように取り調べられ判決にまで至るかをわかりやすく解説。



**裁判員ハンドブック**  
監修：土本武司  
編：裁判員制度を研究する会  
【学研】

### 明野図書館

◆ 「二時的理解」で十分な「説明」ではなく、「永続的理解」を目指す「教える」。教え方次第で学ぶ側の理解度は変わります。日常さまざまな場面で使える教え方を具体例とともに紹介。



**「分かりやすい  
教え方」の技術**  
著：藤沢 晃治  
【講談社】

◆ ありそうでない、ふしぎな森「こそあどの森」シリーズ第4弾。今まで気付かなかった近所の桜。何年か一度咲く桜かも。ひよっとしたら、お話のユメミザクラかも？そのお話とは…。



**ユメミザクラの  
木の下で**  
著：岡田 淳  
【理論社】

◆ 壺の方から吹く風に当たただけでも死ぬ、という大毒をおいて出かけた主人。家来は不安で仕方ない。やや壺の方から風が！逃げる！…あれ？主人は平気で壺をもっていたぞ…？



**ぶす (狂言えほん)**  
文：ささめや ゆき  
絵：もとした いつみ  
【講談社】

## 図書館からのお知らせ

中央図書館Tel 24-3530 明野図書館Tel 52-2466

### ★こどもの読書週間企画展

#### 【中央図書館】

▶ 期間 = 4月17日(金)～5月20日(水)  
▶ 場所 = 1階カウンター前 ▶ 内容 = こどもといっしょに楽しむおすすめ絵本の展示・貸出

#### 【明野図書館】

▶ 期間 = 4月23日(木)～5月12日(火) ▶ 場所 = 児童室 ▶ 内容 = 子ども向けおすすめ絵本の展示・貸出

※筑西しあわせ読書の日 4月23日(木)

### ★こどもの読書週間とは？

こどもたちにもっと本を、こどもたちにもっと本を読む場所をとる願いから、「こどもの読書週間」

は昭和34年に誕生しました。幼少の時から書物に親しみ、読書の喜びや楽しさを知り、物ごとを正しく判断する力をつけておくことが、こどもたちにとってどんなに大切なことか…。こどもに読書を勧めるだけでなく、大人にとってもこどもの読書の大切さを考える、それが「こどもの読書週間」です。

### ★赤ちゃん向け読み聞かせ

▶ 日時 = 4月23日(木) 午後1時～



3時 ▶ 場所 = 中央図書館 おはなしコーナー ▶ 内容 = ブックスタート・スタッフのみなさんが赤ちゃん向け絵本の読み聞かせをします。

### ★明野図書館 おはなし会

午後3時から 児童室にて  
4月12日(日)…『はらぺこあおむし』  
『おかえし』

4月19日(日)…『ペレのあたらしいふく』『わたしのワンピース』

### ★住所変更の際はお知らせください！

姓・住所・電話番号などが変わる場合は、利用カードの登録内容を変更します。身分証明書をご持参のうえ、カウンターまでお越しください。

HITACHI

驚きを実現へ

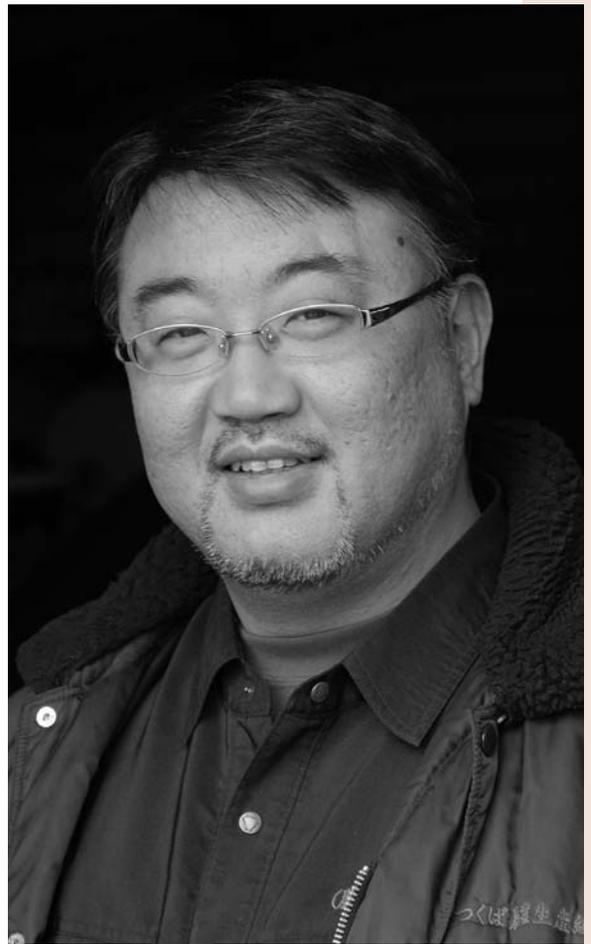
# Hitachi Chemical

Working On Wonders

エレクトロニクス関連製品
機能性材料関連製品
住宅機器・環境設備



「見てくださいこのほうれん草、青々として見事でしょう。野菜を育てているのは太陽と水、そして『土』なんです。私たち人間はお手伝いをしてるだけ」。つくば農業生産組合代表の平子直行さん（42歳・寺上野）は、自慢の野菜



の成長に目を細めます。

平子さんは東京の生まれ。大学卒業後、埼玉県内の中学校で教壇に立ち、その後、外食産業へ転身。この頃から食の安全や食料の自給率に関して興味を持ち始めます。

「古くから日本の農業は人々の生活の中から排出される物や落ち葉、わら、灰などを利用して堆肥をつくり、田畑の土としていました。捨てる物などない『循環型社会』であったわけですね。それが、戦後の高度経済成長によって農業も安易な化学肥料や農薬に頼るようになりました。食の安全に危機感を抱いたことが農業を志したきっかけですね」。

平子さんが代表を務める、つく

ば農業生産組合は、ゴルフ場として開発される予定だった寺上野地区の山林原野を開墾。現在、約11

畝の農地を経営しています。組合では、ほうれん草や小松菜、ベビーリーフなどの葉物野菜を手

がけると共に、地元の畜産農家から排出される牛ふんや草木などを使った堆肥を製造しています。

「地域から生まれる資源を最大限に活用しています。資源の循環ですからコストも安く済みますし、化学肥料に頼らないから、安全な野菜を作ることができます」と平子さん。製造された堆肥は、地元の生産者に提供しているほか、「つくば肥料」として、全国にも出荷。「土が生き返る」「野菜

# 土づくりから 「農」の可能性を探る

つくば農業生産組合代表

平子 直行 さん

が甘くなる」と高い評価を得ています。

「東京に近く、肥沃な土地が広がる筑西市は農業に最適です。地元の生産者と力を合わせて、安全安心な農産物を出荷し、消費者の目を筑西市に向けていきたいですね。これからは『農』でこの地域のブランド力を高めて行きたい」と力強く話してくれました。



「土壌中の微生物が元気に動き回れる土づくりが大切」と平子さん。

NC東日本コンクリート工業株式会社川島工場は、筑西の地で生まれて60年

快適な都市空間づくりに貢献します。

日本コンクリート工業グループ

NC東日本コンクリート工業株式会社

〒308-0856 茨城県筑西市伊佐山 218-3 0296 (28) 1211



より忠実に、  
より鮮明に。

朝日印刷株式会社

本社/筑西市中館 185-6 TEL 0296-20-0303 FAX 0296-20-0211  
筑波工場/TEL 0296-20-7211 つくば支社/TEL 029-851-1188